

日英・日韓プライマリ・ケア交換留学プログラム
平成 27 年度英国・韓国家庭医受け入れ後期研修プログラム公募のお知らせ

日本プライマリ・ケア連合学会（Japan Primary Care Association; JPCA）と英国家庭医学会（Royal College of General Practitioners: RCGP）は、それぞれ国際キャリア支援委員会と若手国際委員会（Junior International Committee: JIC）が窓口となり公式の国際交流事業、「日英プライマリ・ケア交換留学プログラム」を実施しております。2013 年より英国家庭医が毎年 5 名ずつ来日し、本学会認定家庭医療後期研修プログラムを訪問し、学術大会でポスター発表を行っています。また、2013 年は 3 名、2014 年には 5 名の JPCA 認定家庭医療後期研修プログラムの後期研修医、および後期研修修了後 5 年未満の日本人家庭医療専門医を選考して英国へ派遣し、それぞれ異なる英国の家庭医療診療所の見学と、RCGP 年次学術大会への参加を実施しました。平成 27 年度も継続して、日英家庭医・総合診療医の交流を企画しており、6 月の第 6 回学術大会開催に合わせて 5 人の英国家庭医が来日予定です。

また、2014 年 10 月に韓国家庭医学会（Korean Academy of Family Medicine; KAFM）より招待を受け、JPCA から家庭医療後期研修医 3 名が秋季学術大会・研修講座へ参加しました。平成 27 年度はさらに交流を深めることを目的に「日英」に準じた「日韓交換留学プログラム」として実施することになり、6 月の第 6 回学術大会開催に合わせて 3 名の韓国家庭医が来日予定です。

そこで、今回は、その英国、韓国家庭医の訪問・滞在を受け入れる家庭医療後期研修プログラム・施設（以下、受入プログラム）を募集します。下記を確認の上、ぜひご応募下さい。

* 参考：日本プライマリ・ケア連合学会誌. 37(2):141-143,2014.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/generalist/37/2/37_141/_pdf

2015 年 4 月 28 日
日本プライマリ・ケア連合学会
国際キャリア支援委員会

記

募集要項

<募集受入プログラム> 最大 8 プログラム

<応募資格> 次の条件すべてを満たすプログラム

(1) JPCA 認定の家庭医療後期研修プログラムである。

(2) プログラム責任者の承認を得ており、受入担当者（家庭医療専門医または後期研修医が望ましい）がいる。

(3) 受入担当者が英国・韓国家庭医に対して英語または韓国語での電子メールなどによるコミュニケーションをとることができ、訪問・滞在スケジュールの調整や次項にある費用負担範囲について協議できる。

(4) 訪問・滞在する英国・韓国家庭医と協議の上、訪問・滞中に必要な費用の一部または全部を負担できる。

(JPCA および当委員会では特に負担範囲の推奨は提示しないが、負担可能な範囲については、参加者が訪問・滞在先を選ぶ際の参考にするため、他プログラムのもとともに参加者へ提示される。過去の実績では、日本国内の交通・宿泊費、学術大会参加のための交通・宿泊費を負担するプログラムもあった。JPCA からは訪問する家庭医 1 人当たり 英国 10 万円、韓国 3 万円の渡航助成金が支給され、学術大会の参加登録費と懇親会費が免除される。なお旅行保険加入は参加者の自己負担である。)

(5) 事業の発展に協力できる。(例: 受入準備の連絡、受入後のレポート提出、受入マニュアルの共同作成など)

<訪問・滞在する英国・韓国家庭医>

家庭医療後期研修医、または専門医取得後約 5 年以内の家庭医（英国から 5 名、韓国から 3 名の予定。日本語は話せない人が多い）のうち、各プログラム最大 2 名まで

<受入時期>

2015 年 6 月 13 日～14 日の学術大会期間の前後の 1 週間程度（参加者と受入プログラムで相談の上決定）

<見学内容>

日本、英国、韓国の家庭医療学／プライマリ・ケアの相互理解を深めるための活動（診療見学、教育カンファレンスの共同実施、住民への発表会など）

<応募書類> 次の書類を pdf 化し、学会本部事務局（office@primary-care.or.jp）へメール添付にて送付すること。その際メールの件名を「海外家庭医受入プログラム応募()」とし、カッコ内に受入プログラム名を記入すること。

(1) 応募申請書 1 部 以下のリンクより入手すること。

<https://www.dropbox.com/sh/r1csqvzs5ddjuef/AACSdEnRHkr1x78TYleCd1fLa?dl=0>

注:すべて所定のものに入力後プリントして、申請書にはプログラム責任者が署名・押印すること。

<応募締切> 2015年5月8日（金）正午（日本時間）

<受入プログラムの選考>

（1）応募書類と面接試験結果に基づき国際キャリア支援委員会で厳正に協議して受入プログラム候補を決定し、正副理事長会議へその候補を推薦する。

（2）その推薦を受けて正副理事長会議が最終決定する。

<受入プログラムの選考> 2015年5月15日（金）正午、本学会ホームページ上で発表される。

以上